

初心者にも
オススメ

「自動だからこそ」のメリットがある！

自動売買って何？

FXって難しそう

増やす楽しさって？

自動売買 システムで はじめるFX



1 将来のためのお金について考えてみませんか？

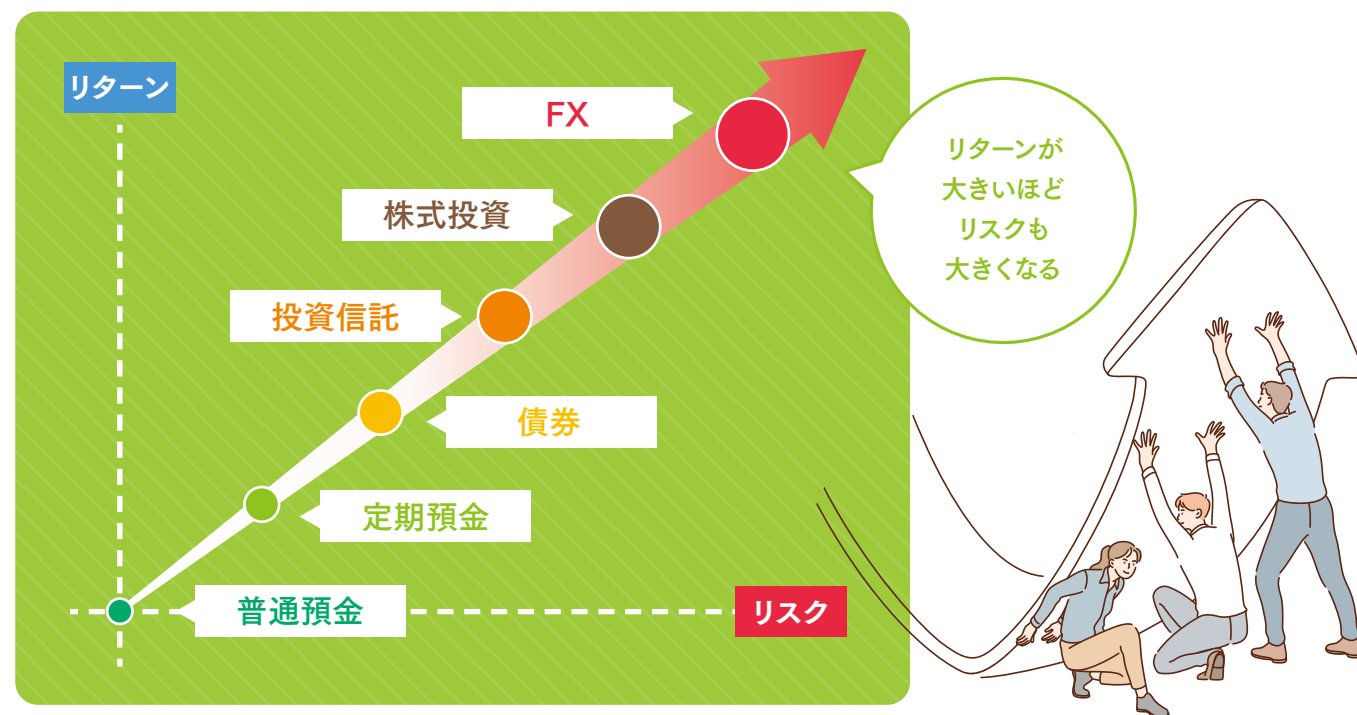


金融商品の種類

低金利の現在、様々な金融商品がありますが皆さんは金融商品についてどれくらい知っていますか？
多くの方がそのメリット・デメリットを理解しておらず、しっかりと使い分けを行っていません。
ではどのような金融商品があるのか見ていきましょう。



一般的にリスクを小さくしようとすれば、期待されるリターンも限られます。
また、大きなリターンを期待すれば、その分リスクも大きくなります。下記はそのイメージを示したものです。



お客さまの投資経験やリスク許容度に合わせてしっかりとお考えください。
またイメージ図はリスクやリターンの水準を保証するものではありません。

お金に働いてもらうためには

お金を手元に置いておくだけでは資産を増やすことはできません。
しかしお金の預け先を考えることでお金に働いてもらうことができます。
従来の預貯金では将来は安定しない情勢となりました。資産についてしっかりと考えてみましょう。

利率を味方につけましょう

お金が2倍になるまでの年数 = **およそ72 ÷ 利率[※] (72の法則)** ※複利の場合

利 率	年 数
0.1%	約720年
3.0%	約24年
6.0%	約12年

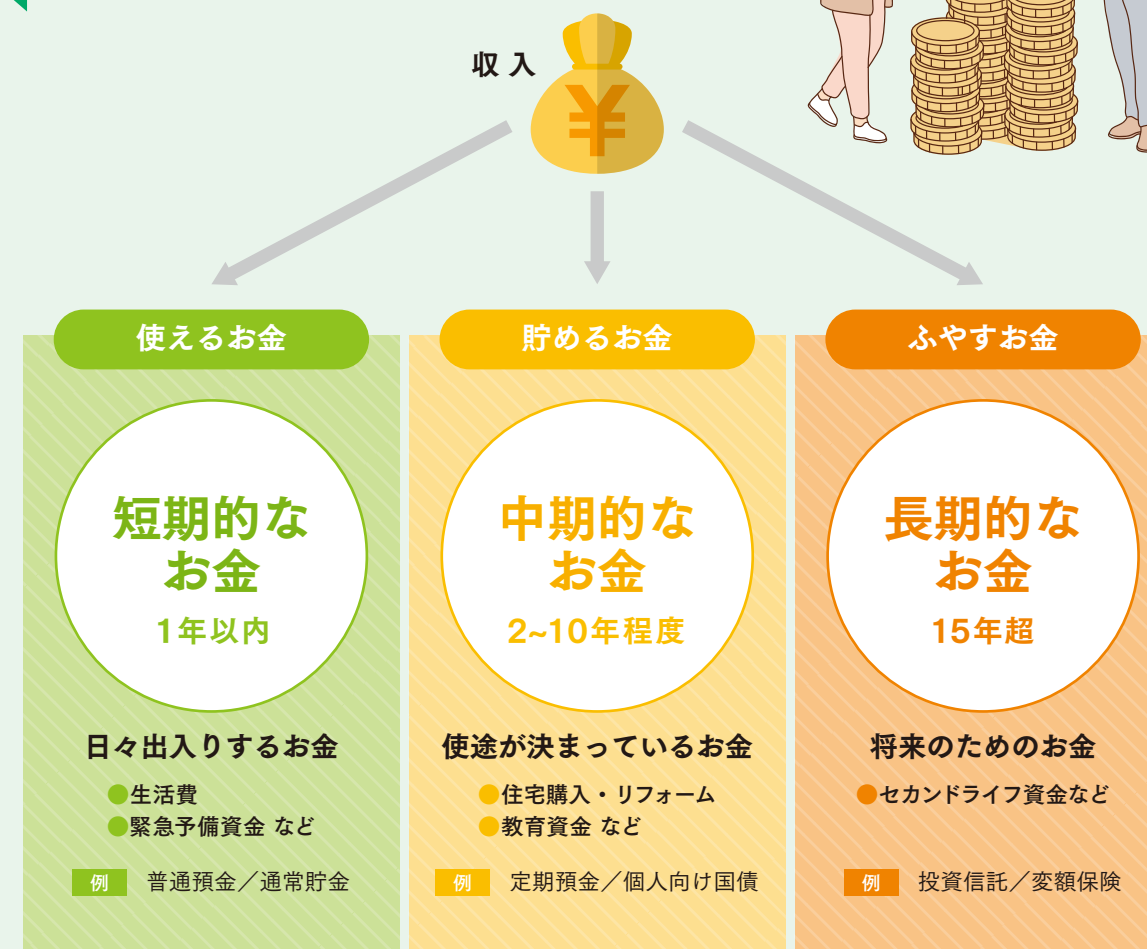
あなたが利用している預金などを当てはめると…

$$72 \div \text{利 率} = \text{かかる年数} \text{ 年}$$

利率によってかかる年数が変わります。



将来のために回せるお金は？



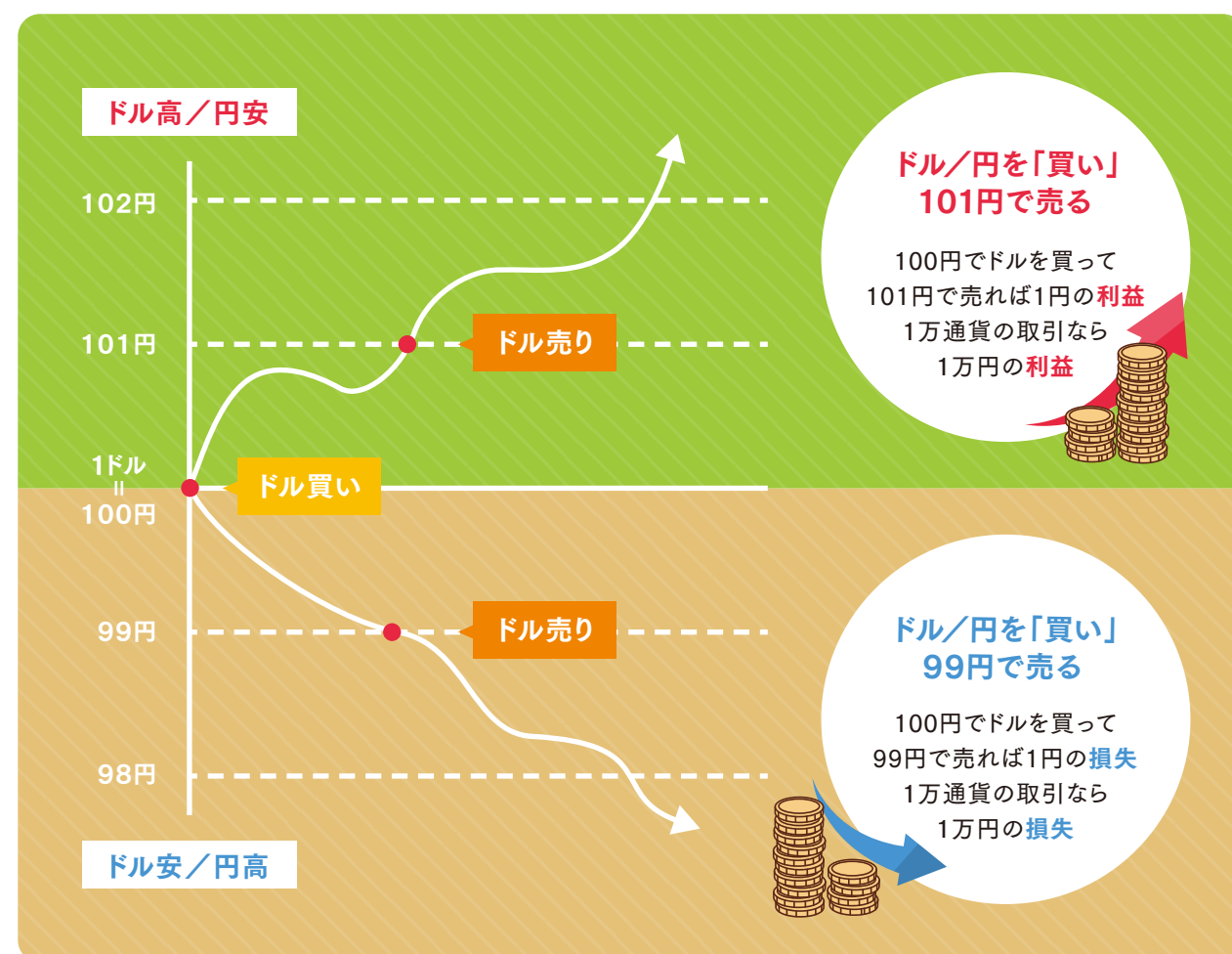
自助の努力で、お金にも働いてもらいましょう

2 FXはお金をふやす手段のひとつでも、そもそもFXって何？

FX (Foreign Exchange) とは

FX(Foreign Exchange／外国為替証拠金取引)とは、日本円とドルなど、異なる2つの通貨を売買することで利益を狙う投資です。簡単に言うと両替によって儲けや損失が生じます。FXの利益や損失は「通貨ペアを買った金額」と「通貨ペアを決済した金額」の差額で基本的に決まります。例えば1ドル＝100円の時「買い」、1ドル＝101円の時「決済」すれば、1円分の差額が利益となり、逆に1ドル＝100円の時「買った」のに、1ドル＝99円の時「決済」すれば、1円分の差額が損失となります。

ドル／円を 100 円で買ったとき



原資が少なければ利益も損失も少なくなりますが、ここでポイントなのが**レバレッジをかけて取引**をすることで、小さな金額で大きな金額を動かすことができる、ということです。

日本の証券会社では**25倍が最大値**となります。

では、レバレッジの仕組みはどうなっているのでしょうか？

「レバレッジ」って何？ 少ない資金で大きな運用！



レバレッジをかけて取引をすることで 保有している資金よりサイズの大きいトレードができる

レバレッジはテコのことで、この図のように実際の資金よりも大きな額面の運用をすることが可能です。

レバレッジ	1回の取引に必要なお金
2倍 →	500円
25倍 →	40円
500倍 →	2円
1000倍 →	1円



25分の1の資金でトレードができるレバレッジ比率を「レバレッジ25倍」と表現します。

現在の国内個人口座のレバレッジは最大25倍となっています。

海外個人口座のレバレッジは特に制限がなく、1,000倍というものもあります。

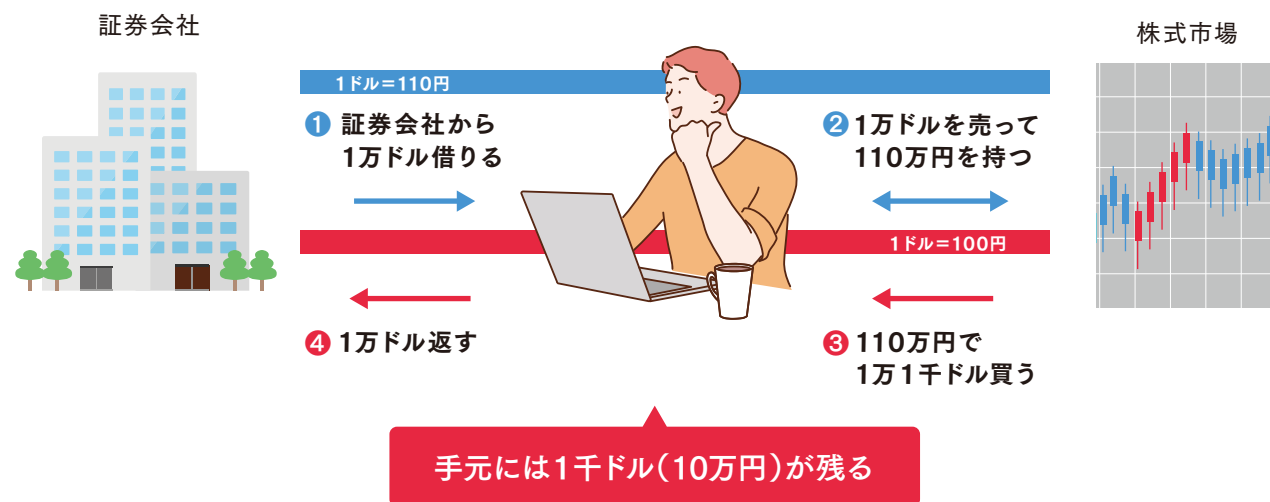
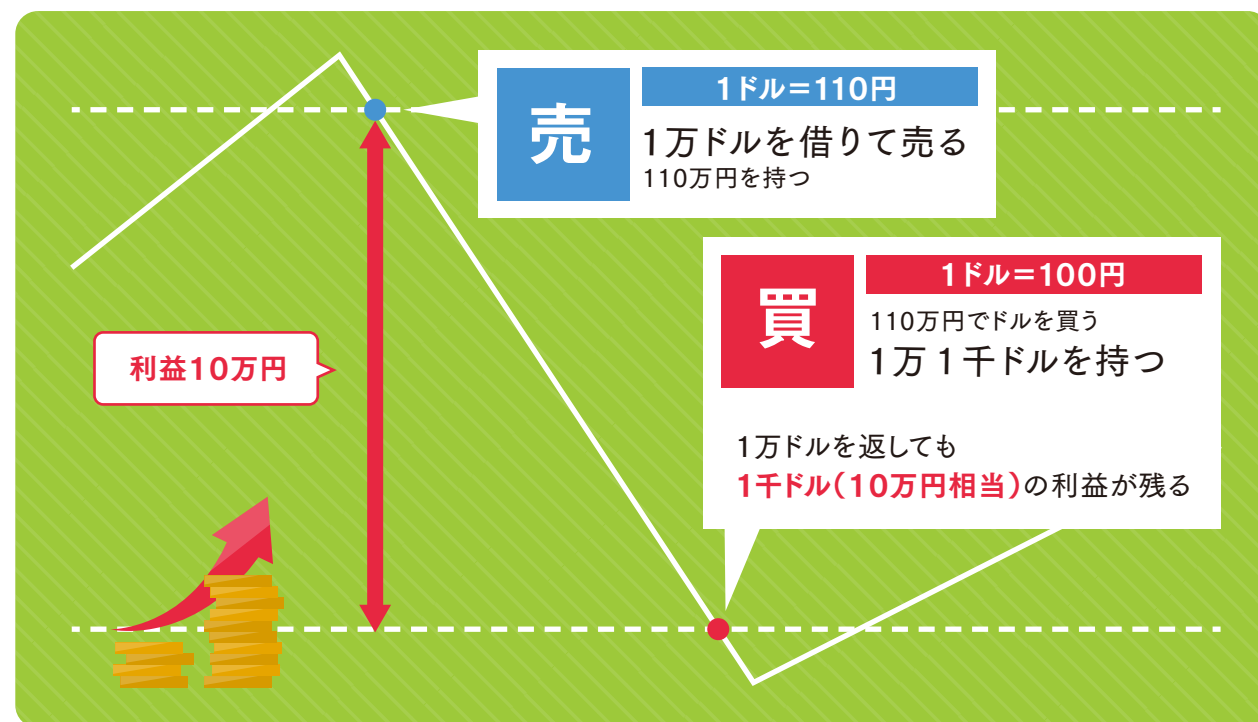
レバレッジをかけて取引することで、保有している資金よりサイズの大きいトレードができるので、トレンドにうまく乗せるなど**優位性のあるトレード**ができれば、**効率的に資金を増やすことができます。**

レバレッジが高いことにより、大きなかけ方をするとハイリスク・ハイリターンになりますが、小さなかけ方をするとローリスク・ローリターンが成立し、本ツールのトレードはこちらの手法を用います。

FXの「空売りシステム」

FXの基本は低い金額で買って、高くなったときに売ることによって儲けを得るのですが、逆に高い金額で売って、下がったときに買うことで儲けることもできます。それを「空売りシステム」といいます。

空売りシステム



無理なかけ方をすることは、トレードではなくギャンブルです。

FXはしっかりとした資金管理をすることが大切です。

FXをはじめるには、FX口座が必要不可欠です →

FX口座(証券会社)とは

FXをはじめるためには、FX口座を作成する必要があります。FX口座に資金を振り込むことで取引をはじめることができます。

当サポートでご案内させて頂くXMという証券会社は海外に拠点を置いている会社で、世界各国で金融ライセンスを保有しているので安心して取引できる会社です。

XMを利用する10大メリット

- レバレッジが888倍**
例：日本の証券口座は25倍が限度のレバレッジとなり、XMの証券口座は888倍が限度のレバレッジのため、差額としては約35倍のレバレッジ幅があります。つまり、XMでは50万円で運用できるものが、日本の証券口座では1,750万円の資金を投入しなければなりません。
- ゼロカットシステムで借金の恐れがない**
FXは証拠金取引のため、自分のお金を担保に大きなお金を運用させることができます。そのため、最悪の場合借金を抱える可能性があるといわれていますが、入金した金額以上の請求はありません。
- 高い約定力**
XMはどのランキングサイトでも上位に入る人気証券会社です。注文から決済のスピードも早く、ツールを使った速い利益確定を行うためには必須条件になります。
- 口座種類**
XMにはスタンダード口座の他にゼロ口座とマイクロ口座があります。マイクロ口座はより小さいレートでの取引ができる為リスクを極力減らしたい方にも使用していただけます。
- MT4・MT5が使える**
そもそもツールを使うためにはMT4が使える証券会社を選定しなければなりません。XMではMT4が扱えるため、当ツールを用いた運用が行えます。
- サイト・サポートが日本語対応**
海外証券会社ですが、日本人のスタッフが複数名いるため、日本語での対応が可能です。また、比較的対応が早いです。
- キャンペーンが魅力的**
入金した際にクレジットというものが付きます(上限あり)。例えば20%のクレジットキャンペーンの際に50万円入金すると、クレジットが10万円付きます。実体はないのですが、実質60万円での運用が可能です。また、取引を重ねるとXM独自のXMポイントを獲得することができ、クレジットへの変換が可能です。
- VPSに提携先がある【重要】**
自動売買を設定するためにはインターネットに繋がったパソコンを起動し続けなければなりません。そこでVPS(仮想デスクトップ)を作成することで、サーバー上にパソコンを設置するシステムを導入し、パソコンを起動していなくても取引できる状況を作り出します。VPSはVPS専門の会社で契約する必要があり、毎月2,000円ほどかかります。XMではVPSの提携があり、条件を満たせば無料で使い続けることができます。
- 出金拒否がない**
海外証券で取引する場合、出金ができないとの噂がありますがXMは出金対応がとても早いです。
- 金融ライセンス保有**
証券会社によっては金融ライセンスのない取引所もごございますが、XMは金融ライセンスを保有しているため、安心して取引を行うことができます。

3 「自動売買システム」を使うメリットとは？

人は損するのが大嫌い

株式投資やFXでなぜ負けるのか？なぜ自分が買った銘柄だけ下がるのか？

もしかすると、その問題の答えは「**プロスペクト理論**」にあるかもしれません。

プロスペクト理論とは、行動心理学のひとつであり、ダニエル・カーマネンとエイモス・トベルスキーが発見しました。

行動心理学とは、これまで人間は、いかなる場合も合理的に行動する生き物だと思われていたが、実はそうではなく、様々な心理状態によって非合理的な行動を取ることがあるという偉大な発見です。

プロスペクト理論を簡単に一言で表すと「人は損するのが大嫌い」となります。これまでいかなる場合も合理的に行動すると思われていた人間は、損得が絡むケースでは「非合理的な行動」を取ってしまいます。

これがプロスペクト理論の本質です。



Q. あなたはこのコインの賭けに参加する？ 参加しない？

次のコインのゲームに参加すると、
あなたは大金が手に入るか、もしくは手持ちの資金を失います。

表

表が出る = 100万円GET

裏

裏が出る = 50万円失う

コインを投げて表と裏が出る確率はもちろん50%です。
確率が50%なので、このゲームがあなたにとって有利なルールで作られていることは明白です。
しかし、あなたにはこのコインゲームに参加しないという選択肢もあります。

ゲームに参加しない場合 = ノーリスクで20万円GET

さて、あなたは**ゲームに参加して100万円GET or 50万円を失うか、**
参加せずに確実に20万円をGETするか、どちらを選びますか？

参加する

参加しない

この問題では、多くの人が「**確実な20万円**」を選択します。

行動心理学では、人間は合理的な生き物ではなく、**ローリスク・ローリターンを好む**
「リスク回避的な生き物」であることが証明されています。

A. 実は参加した方が“期待値”は大きい！

このコイン問題では「**期待値**」を計算することでどちらが得か計算できます。

【参加する】 100万円GET or 50万円失う

$$\frac{(100 \times 0.5)}{100 \text{ 万円がもらえる期待値}} + \frac{(-50 \times 0.5)}{50 \text{ 万円を失う期待値}} = \text{期待値 } 25$$

【参加しない】 確実に20万円GET

$$\frac{(20 \times 1.0)}{20 \text{ 万円がもらえる期待値}} = \text{期待値 } 20$$

つまりこのケースでは不確実性のある
「**コインのゲーム(いわばギャンブル)に参加する**」方が**期待値**は大きいのです。

しかし、人間は直感的にリスクが小さく確実な方
(でも期待値は小さく実は損な方)を選んでしまうのです。



なんとなく実感できた方もいるかもしれませんが、ピンとこなかった方もいるかもしれません。
特にリスクを取るのが好きなギャンブラーほど、ゲームに参加するという判断をしたいと思います。

では、次の問題はどうでしょうか？

人は損をすると取り返したくなる

Q. あなたは敗者復活戦に参加する？ 参加しない？

あなたは先ほどのゲームに参加し、
コインの裏を引いてしまい50万円の損失を被ってしまいました。
(現時点で50万円のマイナス)

そこへ、ゲームのディーラーから「敗者復活戦」の提案を受けました。
その内容は、ルーレットを回して赤を当てることができれば100万円GETできるというものです。
しかし、「赤(当たり)」の出現率は30%となっており、
あなたは70%の確率で30万円の追加損失を被ります。

赤が出る = 100万円を得られる(出現率30%)

黒が出る = 30万円を失う(出現率70%)

もし、赤を当てれば100万円がもらえるので、
50万円の損失を取り戻せるだけでなく、
さらに50万円の利益を得ることができ、気持ちよく帰ることができます。

一方で、ディーラーはあなたにもう1つの選択肢を用意してきました。

ギャンブルに参加しないなら10万円は返金してもいいという提案です。
つまり、敗者復活戦に参加しない場合は、あなたは10万円を受け取り、
確実な40万円の損で帰宅することになります。

参加しない = 10万円の返金(確実な40万円の損)

さてあなたは、
100万円GET or 30万円の損失(勝てばトータル50万円の儲け、負ければトータル80万円の損)
参加せず確実な10万円の儲け(トータルで40万円の損)
どちらを選びますか？

参加する

参加しない

A. 実際は「参加しない」方が期待値は高いが…？

プロスペクト理論を一言で言うと「人は損をするのが嫌い」となるので、
「確実な10万円の儲け」を取るはずですが、
しかしこの理論は「人は損をすると取り返したくなる」と言い換えることもできます。

実際には参加しない方が期待値は高い

$$\frac{(100 \times 0.3)}{100\text{万円がもらえる期待値}} + \frac{(-30 \times 0.7)}{30\text{万円を失う期待値}} = \text{期待値 } 9$$

$$\frac{(10 \times 1.0)}{10\text{万円がもらえる期待値}} = \text{期待値 } 10$$

しかし、「現時点で50万円の損失を被っている」という前提条件が付くことで、
人間はつい「一発逆転」を狙って期待値の低いギャンブルに参加してしまうのです。

では、なぜそのような判断をしてしまうのでしょうか？

このときの心理状態

人はこのような心理状態に陥りやすいといわれています。
なぜなら「50万円損している状態で10万円の返金を受けても、
10万円が小さなものに感じられ魅力的に思えない」のです。

通常は「10万円の返金」は「確実な10万円の利益」と同じです。
しかし、すでに50万円の損をしている状態では金銭感覚が麻痺してしまうのです。

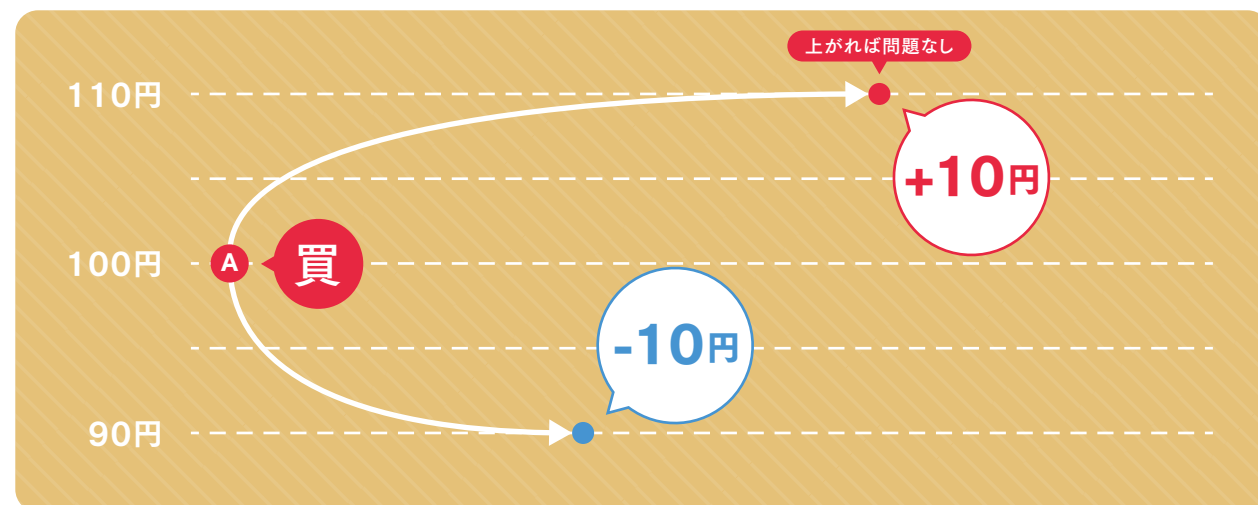
FXだけでなく、株式投資においてもこのプロスペクト理論に当てはまる人は、
投資の世界では高確率で負けてしまいます。
勝つために、トレードにルールを設けることでプロスペクト理論を回避することになりがちなのですが、
これは結局のところ自動売買に任せているのと同じです。
以上の理由から、感情による判断に振り回されない自動売買システムを使うことを推奨しています。

自動売買にも色々な種類がありますが、
当サポートではナンピン買いとマーチンゲール手法を用いたツールを提供しています。

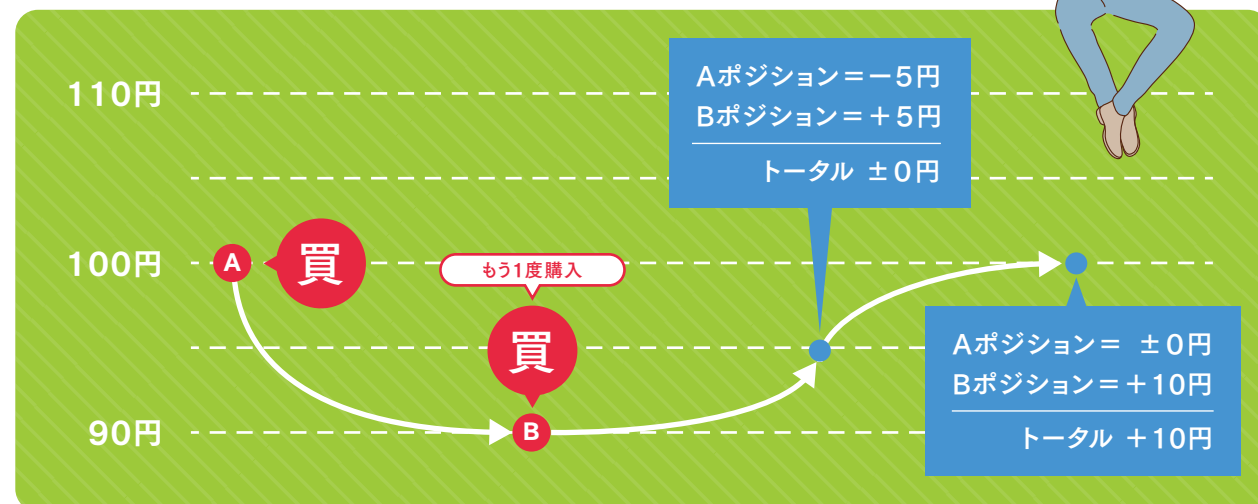
4 「自動売買システム」の仕組み ～ナンピンマーチンとは？～

ナンピン（難平）買いとは

例えば、1ドル＝100円のときに、ドルを購入します。
これが、どんどん円安に進み、1ドル＝110円になれば、なんの問題もありません。
この時点では、**10円儲かった**ということになります。



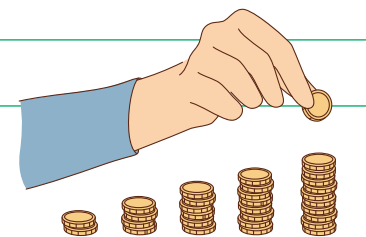
ところが、予定通りにことが運ばず、1ドル＝90円になってしまうと辛いです。
そこで、もう1度ここで1ドル＝90円を買い足します。
すると、下の図のように1ドル＝95円に回復すれば、**±0になります**。
さらに1ドル＝100円まで回復するとトータル10円の利益になります。



1ドルに対する円の価格は行ったり来たりしているので、上手にナンピンと付き合えば、
ずっとチャートに張り付いていなくても、利益を出すことは可能です。

マーチンゲール手法とは

コインを賭けたジャンケンイメージしてみましょう。
ジャンケンに勝てば、Betした分のコインがもらえるとします。



- 1回戦…あなたはコインを1枚Betしていたが負けたので－1コイン
- 2回戦…あなたはコインを1枚Betして勝ったために、＋1コインで、収支±0コイン

こんなジャンケンをしていて、仮に5連敗もすれば、もう嫌になってしまうことでしょう。
ところが、マーチンゲール手法を用いれば、5連敗したって平気なのです。

	Betしたコイン	減ったコイン	収 支
1回戦	1コイン	－1コイン	－1コイン
2回戦	2コイン	－2コイン	－3コイン
3回戦	4コイン	－4コイン	－7コイン
4回戦	8コイン	－8コイン	－15コイン
5回戦	16コイン	－16コイン	－31コイン
6回戦	32コイン	＋32コイン	＋1コイン

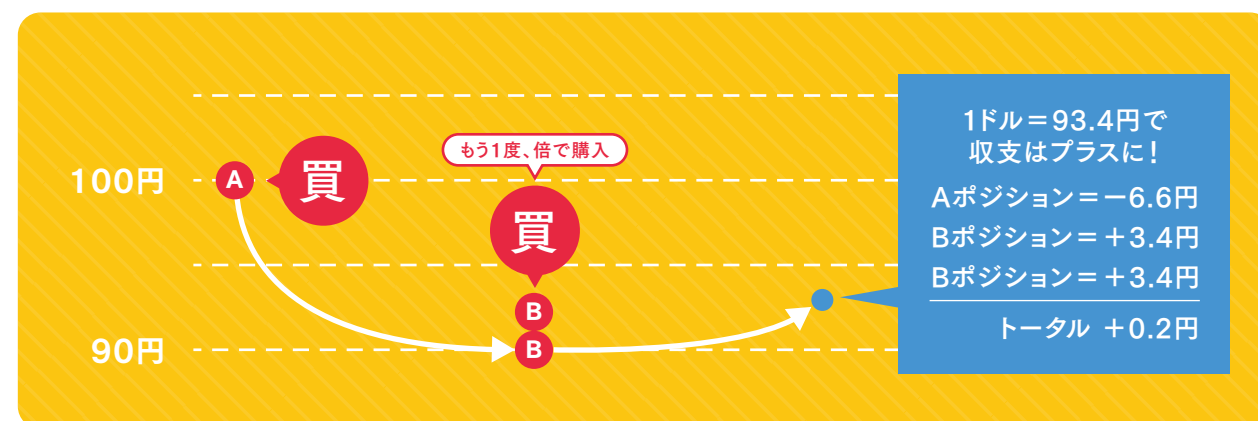
こうすれば、5連敗しても、次に勝てば＋1コインで終わることができます。

勝負そのものには負けることがあっても、収支は必ず＋になるというのが、マーチンゲール手法です。

しかしながら負け続けた場合、かけられるコインが無くなり、この理論は破綻します。

この考え方をFXに適用させると、為替相場は大なり小なり必ず波を描きますから、ナンピンマーチンゲール手法を用いると利益を出すことができます。

ナンピン買いにマーチンゲール手法をプラスするとこのようになります。



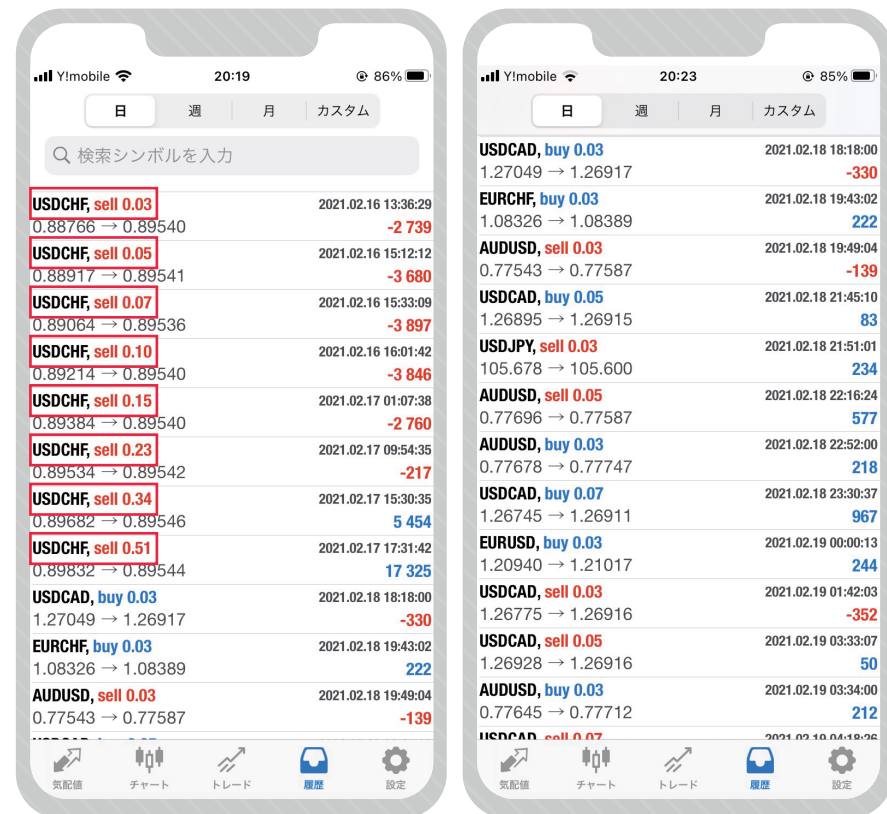
ナンピンマーチンゲール手法をFXに適用させて売買すると、小さく波が戻りを描いただけでも、
収支はプラスに持ち込めるわけです。

実際にナンピンマーチンゲール手法の自動売買をしてみると

実際にナンピンマーチンゲール手法を用いた自動売買ツール(EA)を使って、
トレードをしてみたものをお見せします。

途中でマイナスになっているものもありますが、これは相場に乗るためには重要なことです。

わかりやすくした下記図をご覧ください。



赤枠の部分が
ナンピンマーチンされた
ところになりますが、
これを合計すると…

−2739円

−3680円

−3897円

−3846円

−2760円

−217円

+5454円

+17325円

収支 +5640円

プラスで終わっていることが
わかります。

はじまりより低い値でプラスで決済することができます。

FXにおいて、ナンピンマーチンゲール手法の弱点は、

チャートが波を描くことなく、価格が一方向に動いてしまったときに起こります。

そうすると、含み損を多く抱えるため、

「資金に余裕を持たせること」が重要です。

少ない証拠金で運用されると資金が無くなってしまう可能性がございます。

当ツールの推奨としては最低50万円を用意して欲しいと考えています。

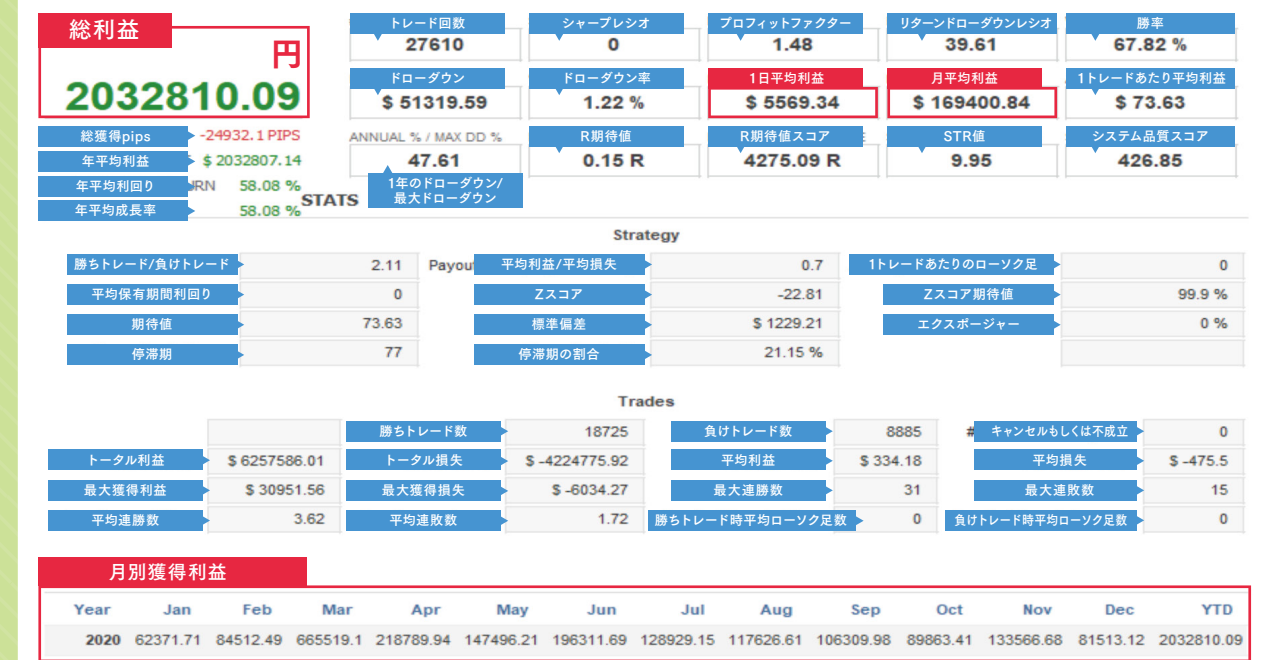
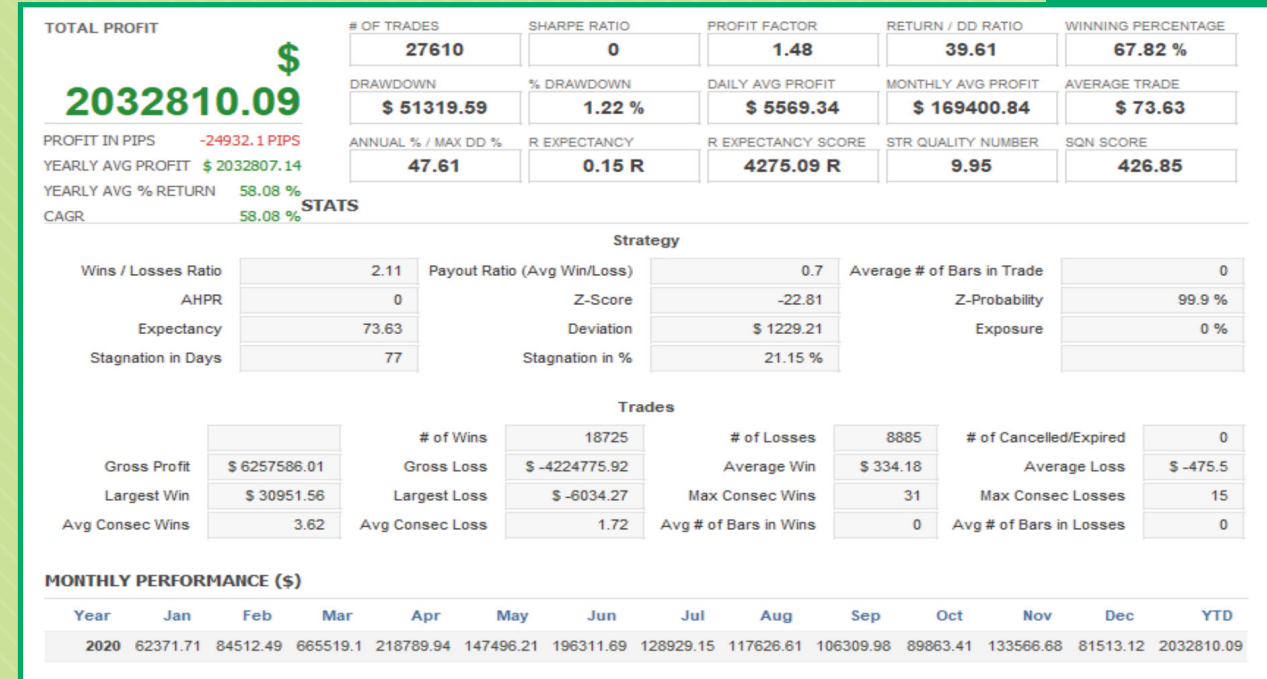
それ以上用意できる方は、圧倒的に資金が無くなりにくくなります。



バックテストの実例

コロナ相場を一刀両断！非常に安定したツールとなっております。

実際のバックテスト画面



※ツールの仕様上\$で表示されていますが、金額は全て円です。 ※スタートのタイミングによってそれぞれ結果が異なりますのでご注意ください。